

大和証券グループと持続可能性

■証券業の役割は、企業と投資家を結び 資金の円滑な供給を支援すること

金融とは文字どおり「お金を融通すること」。お金に余裕のあるところ（個人・企業）から不足しているところ（主に企業・国）へと融通することです。金融には、企業や国が広く投資家から直接資金を集める「直接金融」と、銀行などの金融機関から借り入れる「間接金融」があります。証券会社が扱う「有価証券」は直接金融の手段です。

有価証券は、企業にとっては資金調達の手段であり、投資家にとっては資金運用の手段です。有価証券には株式、債券、投資信託などがあります。株式は、企業が事業資金となる資本を集めるために発行するものです。企業の呼びかけに応じた人たちが、出資した証として企業から株式（株券）を受け取り、株主となります。債券は、公共機関や企業などが資金を借り入れるために発行する一種の借用証書です。投資信託は、複数の投資家のお金を集めて専門家が運用するものです。投資家は、これら有価証券への投資の見返りとして、配当金や利子を受け取ることができます。

投資家が株式を売買する際、証券会社が投資家の売買注文を仲介して証券取引所で取引を成立させます。また、証券会社を通じて債券や投資信託の売買を行なうこともできます。

一方、証券会社は資金ニーズのある企業や団体の資金調達のお手伝いもします。たとえば、未公開企業の株式公開や、公開企業の資本を増やす増資などの取引を行ないます。

このように、証券会社の役割とは、投資家に対しては、証券の売買仲介による資産形成のお手伝い、企業や公共機関など資金ニーズのある団体に対しては、資金調達のお手伝いをすることです。こうして企業と投資家を結びつけ、社会における資金の円滑な供給を支援しています。

大和証券グループ 企業理念 (1998年3月制定)

「信頼の構築」

お客様からの信頼こそが、大和証券グループの基盤である。お客様を第一に考える誠実さと高い専門能力により、最も魅力ある証券グループとなる。

「人材の重視」

大和証券グループの競争力の源泉は人材である。社員一人ひとりの創造性を重視し、チャレンジ精神溢れる自由闊達な社風を育み、社員の能力、貢献を正しく評価する。

「社会正義の貫徹」

大和証券グループに誇りと繁栄をもたらすものは、社会正義の貫徹と、内外のお客様、市場、社会からの信用である。高潔な職業倫理と公正な行動規範により、社会の発展に貢献する。

「健全な利益の確保」

健全なビジネス展開を通じて企業価値を高めることは、株主に対する責務である。大和証券グループはお客様に価値あるサービスを提供して適正な利益を獲得し、株主に報いる。

■持続可能な社会実現に向けて 金融機関が果たす役割

この金融の仕組みに支えられた資本主義が現代社会における経済の発展をもたらしました。しかし、グローバル化した資本主義経済のもとで経済的利益ばかりを求める企業活動が、地球規模の環境破壊や貧富の格差拡大などのさまざまな問題を生み出しているというマイナス面もクローズアップされてきました。その結果、人類社会がこのまま持続できるのかどうか（＝持続可能性）、が危ぶまれるようになってきたのです。

「持続可能性 (Sustainability)」とは、国連の「環境と開発に関する世界委員会」（通称ブルントラント委員会）が1987年に発表した「Our Common Future（邦題『地球の未来を守るために』）」のなかで提唱した「持続可能な発展 (Sustainable Development)」という概念に由来します。そこで「持続可能な発展とは、将来の世代が自らのニーズを充足する能力を損なうことなく、今日の世代のニーズを満たすこと」と定義されています。持続可能な発展を実現するには、地球上に存在するすべての主体が、将来世代のことを考え、共存共栄するための規律を守って行動していくことが求められます。

持続可能性に対する危惧を生み出した最大の原因は現在の経済システムであり、そのシステムの血液ともいえるのがお金です。お金は、社会の持続可能性を損なうこともありますが、逆に問題を解決する鍵ともなりえます。そのため、お金を扱う金融機関は持続可能性の維持に関して大きな役割を担うことができます。その役割とは、金融に社会的な視点を組み込み、問題を解決する方向にお金が行き届くようにすることです。

環境と持続可能な発展に関する金融機関声明 (2004年11月26日署名)

現在及び未来の世代の利益を公平に保つため、持続可能な発展は経済社会発展と環境保護間の建設的な相互作用にかかっていると、金融サービス業界に属する我々は認識するものである。更に、持続可能な発展とは政府、事業、個人共通の責任であると理解し、我々は、これらグループと共に、市場構造枠内で、共通の環境目標に向かって協力し合っていくことを公約する。(以下省略)



UNEP FI

■ 本業を通じて経済社会の健全な発展に貢献

経済社会の中心に位置する金融機関として、大和証券グループのもっとも重要なCSR(企業の社会的責任)は、本業を通じて経済社会の健全な発展に貢献することだと考えています。そのために現在、以下の二つの分野に注力しています。

一つめは、日本社会におけるSRI(社会的責任投資)の普及・促進です。SRIは、社会の課題解決に取り組む企業やステークホルダーに誠実な企業に積極的に投資することで、持続可能な社会の構築を支援するものです。2004年11月には、他の金融機関と連携してSRIの一層の推進を図るため、「国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)」に加盟し、「環境と持続可能な発展に関する金融機関声明」に署名しました。

二つめは、幅広い投資家層の育成と資本市場の発展を支える経済・金融分野での教育・研究活動です。正しい知識を身につけた投資家・青少年の育成により金融・証券市場の活性化を図り、日本経済の再生を促すことが目的です。

大和証券グループは企業理念と「ステークホルダーからの信頼」を基盤にこの二つの取組みをすすめていきます。

■ 大和証券グループの課題

しかし、これらの取組みをすすめることは容易ではありません。大和証券グループには克服すべきいくつもの課題があります。まず、すべての従業員にCSRの考え方や取組みの意義を浸透させることが最大の課題です。現段階では、たとえばSRIや経済・金融教育の意義を、すべての従業員が十分理解しているとは言えません。また、CSRの推進体制や環境マネジメントシステムの構築も緒についたばかりです。

持続可能性への取組みに教科書はありません。私たちは試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいきます。そして、その取組みの過程をこの持続可能性報告書を通じて報告することで、社内外のステークホルダーとのコミュニケーションを図ります。いただいたご意見を経営にフィードバックし、ステークホルダーの方たちの評価をいただきながら進化していきたいと考えています。

大和証券グループのステークホルダー



お客様

お客様の声に誠実に対応し、把握したニーズをより良い製品・サービスの提供に活かすことにより、満足度向上に取り組めます。

従業員

従業員が「働きがい」「誇り」「満足」を実感でき、その能力や意欲を発揮できる制度の充実と、働きやすい環境づくりに取り組みます。

株主・投資家

信頼を得るため透明性の高い情報開示に努めるとともに、持続的な価値創造を通じて期待に応えられるよう努めます。

地域社会

企業市民としての活動を「社会への投資」と考え、経済・金融教育活動を中心に地域の発展に寄与します。

NPO/NGO

単なる金銭的支援にとどまらず、知識やノウハウで協力します。積極的な対話、協働を通じて、社会の価値観を経営に反映します。